

## 抗ヒストン H2B (*S. pombe*)抗体、ウサギ抗血清

63-125 50 µl

真核生物では DNA は高度に保存された 4 種類のヒストン (H2A H2B H3 H4) との相互作用によってヌクレオゾーム構造として折りたたまれている。ヒストンは多様なシグナル伝達のターゲットとしてリン酸化、アセチル化、メチル化、ADP-リボシル化など種々の翻訳後修飾を受けて機能が調節されている。

用途 (詳細は下記文献を参照)

- 1) Western blotting (1000 倍希釈).
- 2) 免疫沈降 (CHIP アッセイ).

抗原: 分裂酵母 histone H2B の N 末配列 SAAEKKPASKAPAGKA の合成ペプチド

反応性: 分裂酵母ヒストン H2B

抗体: ウサギ抗血清 (0.05 % sodium azide 添加)

保存: -20°C (輸送: 4°C または -20°C)

データリンク Swiss-Prot [P04913](#)

文献: 本抗体は下記の論文で使用されている。

1. Maruyama T *et al* "Histone H2B mutations in inner region affect ubiquitination, centromere function, silencing and chromosome segregation." *EMBO J* **25**: 2420-2431 (2006)

PMID: [16688222](#)

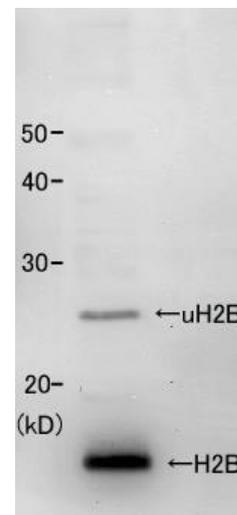


図 1 抗ヒストン H2B 抗体を用いた分裂酵母抽出液におけるウェスタンブロットティング

17kD のバンドは非就職ヒストン H2B、24~25kD のバンドはモノユビキチン化ヒストン H2B に相当する (文献 1 参照)